

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 高蔵 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和7年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されることがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
本市	16.16	19.89	34.46	41.16	50.80	9.47	152.45	22.02	54.09

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97
本市	15.73	18.70	38.63	39.23	39.35	9.75	144.11	13.51	54.98

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査の結果分析
<p>運動に関しては、約90%の児童が「運動やスポーツが好き」「中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたい」と回答している。また、体育の授業に関しては、90%以上の児童が「体育の授業は楽しい」と回答している。</p> <p>しかし、生活習慣に関しては「朝食を食べない日もある・食べない日が多い」「睡眠時間が7時間未満」「テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコン等の画面を1日4時間以上見ている」と回答した児童の割合が全国平均よりも多かった。</p>

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

<p>学習カードを作成し、自分自身の運動の目標(ねらい・めあて)を意識させ、単位時間ごとに達成状況を振り返るようにする。また、活動の時間と振り返りの時間を十分に確保するとともに、ルールや場の設定を工夫し、「できた」「分かった」が実感できるようにする。さらに、体育科学習においてICT機器の効果的な活用方法を模索し、積極的に実践していく。</p>
--

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

<p>異学年交流活動(たてわりグループ)において、昼休みにパワーアップタイムを設定し、全校で楽しみながら大縄跳びの運動に取り組んでいく。中間発表会、最終発表会というゴールを設定し、児童一人一人の運動意欲の維持・継続を図っていく。日頃から外での運動を奨励するとともに、保健体育委員会主催の集会等によりさまざまな運動の場を設定する。</p>
--